

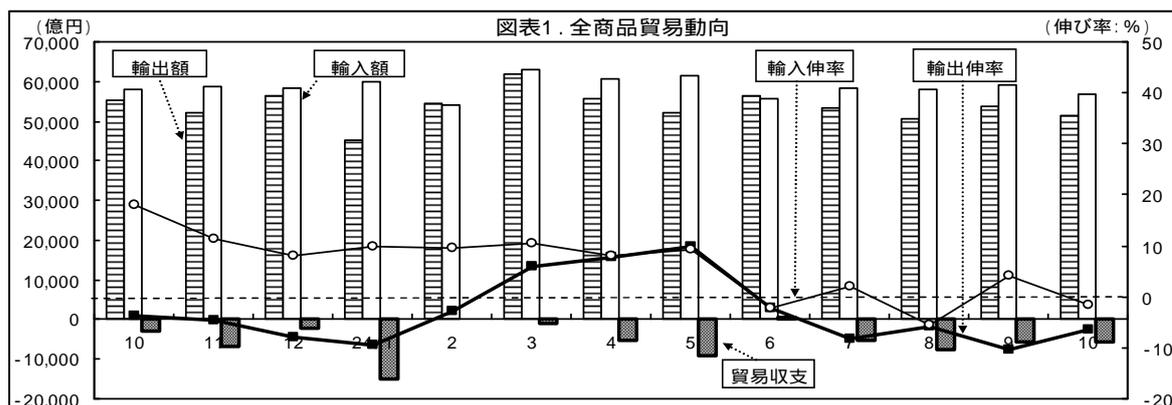
## 最近の機械貿易動向(10月)～機械輸出は4ヶ月連続の減少と依然大幅低迷～

日本機械輸出組合 2012.12.17

10月の機械輸出額は、3兆3,282億円、対前年同月比7.3%減と4ヶ月連続で減少した(9月11.2%減)。これは、EU、中国、その他地域向けに2ケタの大幅減となったこと、機械輸出額の33%を占める自動車の伸びが8.2%減と減少していること、16%の産業機械が9.6%減と大幅な減少が続いていることなどによる。10月は為替・営業日から10.8%増と予想されたが実質の伸びが低下し、大幅な減少となった。11月是对ドルではやや円安方向に転換、対ユーロでも円高が是正され、為替は1.3%の増加要因となり、また、営業日は1日多く(5%増)、為替・営業日は6.3%の増加要因となる。11月の機械輸出額は、仮に10月の実質的伸び(18.1%減)が続くとすれば、前年比約12%減となる。11月上中旬の全商品輸出額は7.5%減である。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は5ヶ月連続でマイナス、貿易収支は4ヶ月連続で貿易赤字～

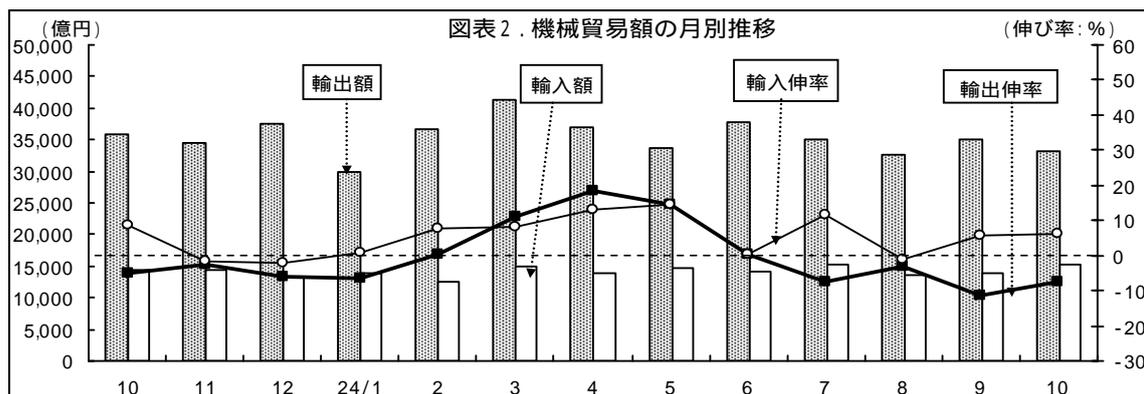
- 1)平成24年10月の全商品輸出額は5兆1,491億円、前年同月比(以下同じ)6.5%減とマイナス幅を縮小するも5ヶ月連続の減少となった(9月10.3%減)。これは、全輸出額の約23%を占める輸送用機器(7.2%減)、約20%を占める原動機、金属加工機械等一般機械(11.3%減)、13%の鉄鋼等原料別製品(7.2%減)等が大幅に減少したことによる。
- 2)輸入額は5兆7,002億円、前年同月比1.5%減と2ヶ月ぶりに減少に転じた(9月4.1%増)。これは、全輸入額の28%を占める原油等鉱物性燃料(10.9%減)、8%の鉄鋼等原料別製品(9.7%減)、7%の鉄鉱石等原料品(7.6%減)等が大幅に減少したためである。
- 3)この結果、輸出額から輸入額を差し引いた10月の貿易収支は、5,510億円と4ヶ月連続の貿易赤字となり、10月(1979年1月以降による)としては過去最大となった。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出は4ヶ月連続減少と低迷、輸入は2ヶ月連続増加～

- 1)全商品輸出額の約65%を占める10月の機械輸出額は3兆3,282億円、7.3%減と減少幅を縮小させたものの4ヶ月連続で減少となった(9月11.2%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成19年10月)と比べると、64.5%と前月より5.5ポイントとさらに後退した(9月70%)。
- 2)一方、全商品輸入額の約27%を占める機械輸入額は、1兆5,182億円、6.1%増と2ヶ月連続で増加となった(9月5.5%増)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の85.7%と前月より4.6ポイント後退した(9月90.3%)。

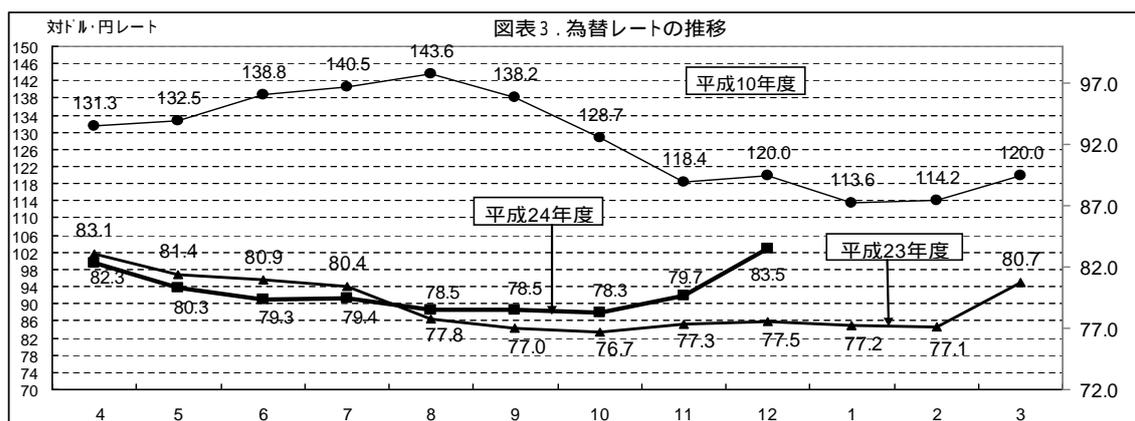


(2) 為替動向・営業日～9月は為替・営業日で4.8%の減少、10月は10.8%の増加要因～

1) 10月は1ドル = 78.3円とさらに円高が進んだが、前年が過去最大の円高であったため、2.1%の円安となった。また、対ユーロでは101.6円と円高がやや是正され、前年に対し2.3%の円高となり、合わせて0.8%の為替増加要因となった。営業日は2日多いので10%増、合計10.8%の増加要因となる。10月の輸出額は7.3%減であったことから、実質的伸び率は18.1%減とマイナス幅がさらに拡大した(9月6.4%減)。

2) 11月は1ドル = 79.7円とやや円安方向に転換し、前年に比べ3.1%の円安となった。また、対ユーロでは102.8円とさらに円高が是正されが、前年に対し3.5%の円高となり、合わせて1.3%の為替増加要因となった。営業日は1日多いので5%増、合計6.3%の増加要因となる。

3) 12月は、対ドルが現状の83.5円とすれば、前年が円高であったので7.7%の円安となり、また、対ユーロが109.0円と円安方向に動いたので5.1%の円安となり、合わせると4.4%の為替増加要因となる。営業日は同じなので合計4.4%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～EU、中国、その他地域向けが二桁減、米国、NIES/ASEAN 向けはプラスへ～

1) 機械輸出が減少したのは、機械輸出額の約11%を占めるEU向けが、長びく欧州経済の低迷から、輸出額の30%を占める自動車(29.8%減)、18%占める産業機械(6.1%減)、電子デバイス(37.9%減)、光学機械(44.8%減)、建設機械(41.0%減)等が減少し、22.6%減と大幅なマイナスとなったこと、約16%を占める中国向けでは、輸出額の18%を占める半導体製造装置等産業機械(24.6%減)、約15%を占める自動車(48.4%減)、建設機械(60.8%減)等が大幅に減少し、18.5%減のマイナスとなったこと、また、20%を占めるその他地域向けでは、アフリカを除く、ロシア東欧(25.0%減)、中南米(11.7%減)が2ケタ減となり、機種では、輸出額の半分以上を占める自動車(7.3%減)、9%の産業機械(23.2%減)、建設機械(37.1%減)等がマイナスとなり11.0%減の減少となったことによる。

2) 他方、機械輸出額の約24%を占める北米向けは、輸出額の48%を占める自動車(4.7%増)が前月から増加に転じたほか、全体の14%を占める産業機械(8.1%増)、建設機械(11.5%増)、重電機機械(15.6%増)等の大幅増が寄与し、3.1%増と2ヶ月ぶりに増加となった。また、29%と最大輸出先のNIES/ASEAN 向けでは、タイ(31.8%増)が2ケタの大幅増となり、業種では自動車、産業機械、重電機機械、工作機械(ASEAN)、光学機械、電子デバイス(NIES)等がプラスとなり、2.4%増となった。

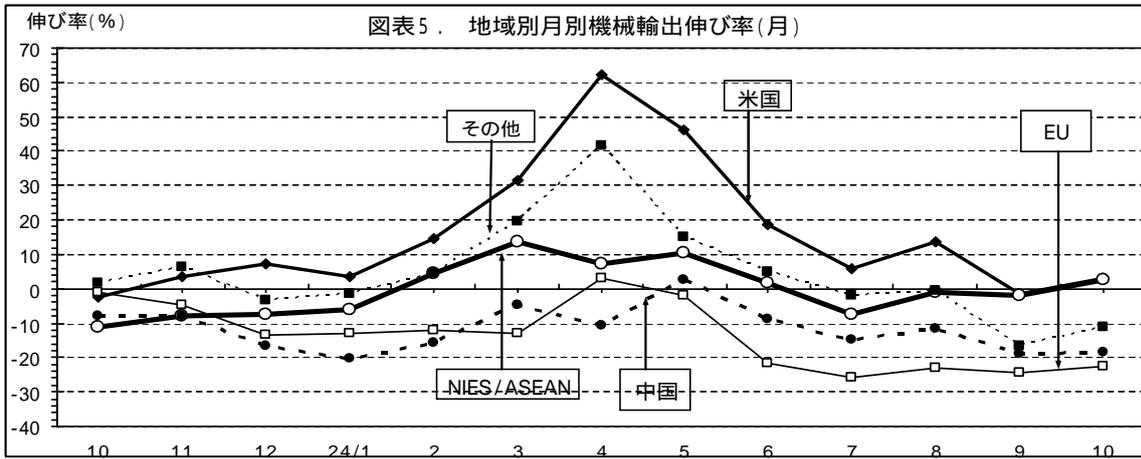
3) また、リーマンショック前の平成19年10月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えたのは皆無で、中国が80%台、NIES/ASEAN が70%台、北米が60%台、その他地域は50%台、EUは40%台と低い水準となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2012/8			2012/9			2012/10			対07年10月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	32,680	3.0	100	34,968	11.2	100	33,282	7.3	100	0.65
北米	7,477	13.4	22.9	7,838	1.5	22.4	7,881	3.1	23.7	0.65
EU	3,354	22.9	10.3	3,890	24.5	11.1	3,588	22.6	10.8	0.42
NIES/ASEAN	9,468	0.9	29.0	10,272	2.1	29.4	9,720	2.4	29.2	0.77
中国	5,866	11.5	17.9	5,734	18.8	16.4	5,405	18.5	16.2	0.80
その他	6,516	0.4	19.9	7,235	16.7	20.7	6,689	11.0	20.1	0.59

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2012/7		2012/8		2012/9		2012/10	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,579	17.5	1,494	19.9	1,634	5.5	1,581	1.0
台湾	1,551	12.4	1,525	1.7	1,603	6.2	1,533	6.6
香港	1,431	13.6	1,450	0.6	1,491	4.8	1,437	2.2
タイ	1,875	12.6	1,786	16.7	2,006	12.8	1,955	31.8
シンガポール	801	34.7	743	27.0	793	26.0	687	12.0
インドネシア	861	1.9	816	20.7	927	1.5	805	3.9
マレーシア	714	15.2	699	2.3	767	5.1	774	5.1
フィリピン	564	27.4	498	10.0	556	4.5	507	13.5
ベトナム	456	48.9	354	22.3	371	14.5	326	7.4
その他地域								
中南米	2,351	5.8	2,044	1.3	2,188	22.3	2,060	11.7
中近東	1,412	9.3	1,230	4.8	1,443	1.8	1,472	3.2
大洋州	1,087	11.4	1,045	16.7	1,267	12.5	1,021	0.2
ロシア東欧等	1,325	1.3	1,130	2.6	1,086	25.3	1,084	25.0
アフリカ	723	7.3	531	15.9	729	15.6	570	0.5
インド	452	7.1	419	5.1	411	20.9	401	9.7

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 19業種のうち16業種でマイナス、自動車は2ヶ月連続マイナスへ ~

- 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが、前月同様、16業種であった。全体の約34%を占める自動車(8.2%減、2ヶ月連続マイナス)、約16%を占める産業機械(9.6%減、16ヶ月連続)、船舶(10.9%減)、軽電気機械(10.6%減)、建設機械(34.7%減)、通信機械(17.6%減)、電子計算機(17.3%減)、ベアリング(12.9%減)、陸用内燃機(19.7%減)、繊維機械(16.1%減)等が大幅なマイナスとなった。他方、10%以上伸びたのは工作機械(13.8%増)のみであった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのが医療機械、光学機械の2業種で、他方、電子計算機、通信機械、民生用電子機械、建設機械、産業車両は、30~50%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

機種名	2012/8			シフト	2012/9			シフト	2012/10			対07/10比
	金額	伸び率	シフト		機種名	金額	伸び率		シフト	機種名	金額	
自動車	10,252	1.6	31.4	自動車	11,423	12.0	32.7	自動車	11,220	8.2	33.7	0.61
産業機械	5,806	9.3	17.8	産業機械	5,523	9.5	15.8	産業機械	5,439	9.6	16.3	0.76
電子デバイス	2,832	3.4	8.7	電子デバイス	3,012	7.7	8.6	電子デバイス	2,836	4.4	8.5	0.61
船舶	1,115	26.4	3.4	船舶	1,516	38.6	4.3	船舶	1,175	10.9	3.5	0.63
軽電気機械	1,802	5.6	5.5	軽電気機械	1,936	10.2	5.5	軽電気機械	1,781	10.6	5.4	0.68
民生用電子機械	1,740	4.4	5.3	民生用電子機械	1,804	6.1	5.2	民生用電子機械	1,680	6.6	5.0	0.40
重電気機械	1,688	0.9	5.2	重電気機械	1,777	7.5	5.1	重電気機械	1,701	6.6	5.1	0.77
軽機械	1,277	7.9	3.9	軽機械	1,343	5.8	3.8	軽機械	1,242	6.7	3.7	0.69
光学機械	1,311	0.2	4.0	光学機械	1,415	3.3	4.0	光学機械	1,379	0.2	4.1	1.02
建設機械	945	9.7	2.9	建設機械	1,027	17.7	2.9	建設機械	772	34.7	2.3	0.57
工作機械	929	27.6	2.8	工作機械	847	4.4	2.4	工作機械	844	13.8	2.5	0.96
通信機械	365	21.2	1.1	通信機械	439	8.9	1.3	通信機械	388	17.6	1.2	0.38
電子計算機	362	21.9	1.1	電子計算機	401	15.1	1.1	電子計算機	377	17.3	1.1	0.28
ベアリング	331	7.7	1.0	ベアリング	349	14.0	1.0	ベアリング	333	12.9	1.0	0.93
陸用内燃機関	307	12.8	0.9	陸用内燃機関	326	26.0	0.9	陸用内燃機関	322	19.7	1.0	0.77
医療機械	270	4.7	0.8	医療機械	384	15.5	1.1	医療機械	303	1.8	0.9	1.19
繊維機械	136	21.8	0.4	繊維機械	158	0	0.5	繊維機械	174	16.1	0.5	0.63
農業機械	124	11.5	0.4	農業機械	152	18.1	0.4	農業機械	145	2.3	0.4	0.76
産業車両	109	12.1	0.3	産業車両	128	10.1	0.4	産業車両	128	2.1	0.4	0.57
19業種合計	31,701		97.0	19業種合計	33,960		97.1	19業種合計	32,239		96.9	0.64

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: ノートPC、HDD、プリンター等部品。

(5) 機種別動向～金属加工機械、工作機械は二桁増、録画・再生、電池、発電機は大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種は、ASEAN、その他地域、韓国・台湾等向け**金属加工機械(29.2%増)**、中国、ASEAN、その他地域等向け**工作機械(13.8%増)**である。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、録画再生機器(55.6%減)、電池(48.1%減)、発電機(36.7%減)、半導体製造装置(36.4%減)、建設機械(34.7%減)、運搬機械(24.3%減)、陸用内燃機関(19.7%減)、電子計算機(17.3%減)、通信機械(17.6%減)、繊維機械(16.1%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/8			2012/9			2012/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電子応用装置	58	58.5	金属加工機械	331	29.8	金属加工機械	375	29.2
工作機械	929	27.6	農業機械	152	18.1	工作機械	844	13.8
発電機	122	26.1	医療機械	384	15.5	機種合計	1,219	3.7%
貨物自動車	677	18.3	時計	112	12.5			
原動力機械	396	17.9	機種合計	867	2.5%			
機種合計	2,182	6.7%						

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/8			2012/9			2012/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電池	176	50.9	録画・再生機器	8	55.6	録画・再生機器	8	55.6
エアコン	6	47.3	電池	174	54.6	電池	180	48.1
録画・再生機器	10	40.1	船舶	1,516	38.6	発電機	96	36.7
船舶	1115	26.4	陸用内燃機関	326	26.0	半導体製造装置	638	36.4
半導体製造装置	982	25.3	半導体製造装置	806	21.0	建設機械	772	34.7
産業用ロボット	81	23.5	風水力機械	564	19.8	運搬機械	187	24.3
電子計算機	362	21.9	建設機械	1,027	17.7	陸用内燃機関	322	19.7
繊維機械	136	21.8	乗用車	6,122	16.1	電子計算機	377	17.3
通信機器	365	21.2	磁気カード・ディスク	142	15.8	通信機械	388	17.6
磁気カード・ディスク	137	13.0	電子計算機	401	15.1	繊維機械	174	16.1
機種合計	3,233	9.2%	機種合計	11,078	31.7%	機種合計	3,142	9.4%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～携帯電話、電算機、乗用車、医療機器が大幅増、航空機、光学機械が減少～

1) 10月の機械輸入伸び率は6.1%増と2ヶ月連続で増加となった。その要因は、携帯電話(29.3%増)の大幅増をはじめ、二大輸入機種の電子計算機(13.6%増)、乗用車(21.0%増)、重電気機械(11.5%増)の2桁増等が大きく影響したためである。他方、マイナスとなったのは航空機(4.9%減)、光学機械(2.5%減)、民生用電子部品(1.7%減)、分析・試験・検査機(3.6%減)となった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機器、時計、TV、ラジオ、録画・再生機器、エアコンとなっている。

3) 地域別機械輸入額は、中国(8.5%増)、ASEAN(0.7%増)、EU(7.5%増)、韓国・台湾(7.0%増)、北米(7.1%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2012/8				2012/9				2012/10			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,481	6.6	11.0	電子デバイス	1,497	0.3	10.8	電子計算機	1,823	13.6	12.0
電子計算機	1,417	8.6	10.5	電子計算機	1,412	11.5	10.1	電子デバイス	1,531	0.8	10.1
乗用車	869	22.4	6.4	携帯電話	1,276	185.8	9.2	携帯電話	1,310	29.3	8.6
自動車部品	655	5.6	4.9	乗用車	680	0.8	4.9	乗用車	730	21.0	4.8
携帯電話	634	12.5	4.7	自動車部品	660	0.8	4.7	自動車部品	717	2.0	4.7
重電気機械	619	9.1	4.6	重電気機械	624	0.8	4.5	重電気機械	674	11.5	4.4
白物家電	502	10.1	3.7	航空機	570	135.7	4.1	白物家電	526	6.2	3.5
医療機器	487	9.9	3.6	医療機器	459	10.4	3.3	医療機器	506	16.2	3.3
航空機	449	78.5	3.3	白物家電	459	0.8	3.3	航空機	383	4.9	2.5
光学機械	347	3.2	2.6	光学機械	346	2.5	2.5	光学機械	354	2.5	2.3
民生用電子部品	298	8.6	2.2	分析・試験・検査機	280	12.1	2.0	民生用電子部品	326	1.7	2.1
分析・試験・検査機	253	1.3	1.9	民生用電子部品	269	13.1	1.9	分析・試験・検査機	281	3.6	1.9
12機種合計	8,011		59.4	12機種合計	8,263		59.4	12機種合計	9,161		60.3

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械